

令和5年度「小中連携研修会」まとめ

明和小学校・中学校 研修係

1 研究主題

児童・生徒一人一人の豊かな人間性と確かな学力を高める小・中連携の在り方

2 目的

- (1) いじめ・不登校、問題行動等の課題解決のため、一人一人の子どもの成長の違いや個性を認め、どの子どもも存在感・充実感のもてる授業や学級・学校づくりを行う。
- (2) 子どものよさを認め合い、互いに学び、生活し合うという教育環境づくりを、全教育活動を通して話し合い、「豊かな人間性」、「確かな学力」及び「健康や体力」などの生きる力の育成を図る。

3 日時 令和5年6月5日（月） 13:40～16:45

4 会場 明和中学校

5 分科会の様子（主な協議内容）**昨年度の共通実践事項**

(1) 学習指導分科会

2分前着席，1分前黙想

- ・ 共通実践事項について、小学校では発達段階に応じて取り組んでいる。中学校では、生徒会活動の一つとして取り組み、全体的に習慣化されている。小学校での取組が中学校でも生かされている。今年度の共通実践事項は、昨年度と継続する。
- ・ 家庭学習習慣を身に付けるための提示の工夫が必要。

(2) 生徒指導分科会

小：あいさつ はきものをそろえる 廊下歩行 中：日々五行の実践

- ・ 小中共に落ち着いた雰囲気である。スマホやゲームの使用について課題がある。（SNSトラブル）アウトメディアの日を小・中学校で共通実践できないだろうか。（毎月23日）
- ・ 中学校の校則の見直しに合わせ、小学校でも見直しを検討している。
- ・ 不登校傾向の児童生徒への対応として、校内で居場所をつくっている。

(3) 特別支援教育分科会

児童・生徒の将来を見据えた教育相談（進路指導）

- ・ 小中学校共に、学校全体で支援する体制ができています。長期休みを活用した教育相談や三者面談（中学校）、2学期に教育相談を実施（小学校）

6 まとめ（含全体会）

6月5日（月）に明和小中学校の先生方が一斉に集い、小中連携研修会が実施されました。今年度は小学校の先生方が中学校の授業を参観し、子どもの学ぶ姿を見取りました。その後、各分科会に分かれ、熱心に意見交換が行われました。（上記内容）分科会では、小中実践事項の継続的な取組と小中共によりよい学校生活を送ることができるよう情報交換や今後の方向性について語り合うことができました。社会の変化への対応（情報端末機器の使用、校則の見直し）について、共通理解を図ることができたので、共通した指導ができるように今後も連携をとる必要があると確認しました。



令和5年度『小中共通実践事項』

「学習指導」*小学校は発達段階に応じて実践

2分前着席，1分前黙想

「生徒指導」

小学校：あいさつ はきものをそろえる 廊下歩行

中学校：「日々五行」の実践

「特別支援教育」

児童・生徒の将来を見据えた教育相談（進路指導）

